

<別記 6>

令和元年度 再評価対象事業一覧表

令和元年9月作成

整理 番号	事業計画					再評価の視点										前回 審議 年度	対応 方針 (原案)						
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工期		再評価の 理由※2	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、 関連事業の状況	社会経済 情勢の変化			地元等 の意向	費用対効果分析		コスト削減 及び 代替案立案の 可能性の有無		
						着工	完了		進捗率	用地 進捗率	R1年度 事業費	R2年度 以降事業費	B/C						分析基礎の 要因の変化				
						上段：当初※1 下段：変更	(億円)													(%)		(%) ※3	(億円)
河川- 5	河川総合開発事業	石木ダム	県	川棚町	重力式コンクリートダム ダム高H=55.4m 堤頂長L=234.0m	S48	R4	285.0	再評価後変更 ⑩ 社会経済情勢 の変化等 ⑪	155.6	54.6	88.7 (81.8)	11.3	118.1	・長崎県総合計画チャレンジ2020 9-(4)-5「地震、大雨、台風、高潮 などの自然災害に備えた施設整 備など防災対策の推進」に位置 付けられている。 ・川棚川水系河川整備基本方針 ・川棚川水系河川整備計画	・工事工程の見直しによる 工期変更	・既に8割以上の 地権者に協力を得 て、ダム下流には 代替宅地、貯水池 左岸部には代替 墓地を整備し、多く の地権者の方々が 移転している。 ・地域から早期に 完成を望む要望も あり、また、地元自 治体もダム建設推 進の立場を明確に している。	1.25	1.21	【マイナス要因】 ・工期の延長 【その他要因】 ・費用便益分析マ ニュアルの改定 (プラス要因)	・治水や流水の正 常な機能の維持 について、現計画 案と現計画案以 外の代替案を比 較検討し、最も有 利な案は現計画 案と評価してい る。 ・設計段階や工事 施工においても、 工法の工夫や新 技術の積極的な 採用により、今後 も引き続き、コスト 削減を図ってい く。	H27	継続
					S48	R7	285.0																

※1 2回目以降の再評価の場合、「当初」は「前回」と置き換えている。

※2 「再評価の理由」の項目一覧

区分	水産庁、農林水産省 林野庁関係事業	国土交通省関係事業
	実施時期	実施時期
未着工	事業採択後5年未着工 ①	
長期継続	事業採択後10年経過	事業採択後5年経過(補助事業) 事業採択後10(5)年経過(交付金事業) ② ③、④
		再評価の必要性の判断基準に該当する事業 事業採択後6~9年目(交付金事業) ⑤
		事業期間5年以内の事業が大幅に工期が延びる見込み 事業採択後5年経過(交付金事業) ⑥
		③ ⑦
準備・計画		準備・計画段階 予算化後5年経過 ⑦
再評価後	再評価後5年経過	再評価後5年経過(補助・交付金事業) 再評価後10年経過(下水道事業) ⑧ ⑨
		再評価実施後、工期延長または事業費増額の変更を行う事業 変更前の工期または事業費を超過する前年度まで ⑧ ⑩
その他	社会経済情勢の急激な変化等(適宜)	
	その他上記以外で再評価の実施の必要が生じた事業(適宜)(水産庁、国土交通省) ⑪	

③: 10年経過
④: 5年経過
(5年経過時点で再評価が必要と判断)

※3 用地進捗率の上段は「事業費ベース」、下段()書きは「契約(面積)ベース」である。